

当院は脳神経の専門施設として医療を提供するだけでなく、医学の進歩に寄与する研究を行っています。

今回、当院脳神経外科三宅茂太副医長は、横浜市立大学医学部医学研究科脳神経外科の末永潤講師、のじ脳神経外科・しびれクリニックの野地雅人院長との共同研究により、安全なボクシング競技環境の整備を目的として、神奈川県内で活動するボクシングアンダージュニア選手及び保護者を対象にアンケート調査を実施しました。

半数以上の選手及び保護者は脳震とうについての十分な知識を持たずに競技に臨んでいることが明らかとなり、選手のみならず保護者を対象とした頭部外傷の知識の啓発が不可欠であることが分かりました。

本研究は、日本臨床スポーツ医学会誌 Vol.29 No.2,2021.に掲載されました。